

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	治療論概説Ⅰ 1単位 30時間 (手術療法・救急法・放射線療法)		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	山本典正・杉山佳菜子・小柴真一 山口智彦・望月亮三・萱場健雄	実務経験	有
<p><科目のねらい> 近年の医学の進歩はめざましく、それぞれの分野に大きな変化が起きている。医療を取り巻く環境が変化している中、質の高い医療サービスを提供することが看護師には求められている。それぞれ専門分野の医師・看護師から手術療法・創傷管理・救急処置・熱傷・放射線治療についての講義を受ける。</p> <p><到達目標> ・疾病の回復を促進する各治療法の原理や方法について理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 手術療法とは 2. 手術侵襲と生体の反応 1) 手術侵襲とは 2) 侵襲に対する生体反応 3) サイトカインによる生体調節機構 4) 手術侵襲の評価	講義 (山本)	
2回目	1. 麻酔法 1) 麻酔とは 2) 麻酔の種類 3) 術前管理 4) 術中管理 5) 術後管理 2. 呼吸管理	講義 (山本)	
3回目	1. 創傷治癒過程 2. 手術創部の処置	講義 (杉山)	
4回目	1. 現場で遭遇する創傷 1) スキン-テア 2) 医療関連機器圧迫創傷 3) 失禁関連皮膚炎	講義 (杉山)	
5回目	1. 褥瘡患者の看護 1) 皮膚の構造 2) 褥瘡ケアの実際	講義 (杉山)	
6回目	1. 主要病態に対する救急処置 1) ショック 2) 外傷 3) 熱中症 4) 中毒	講義 (小柴)	
7回目	1. 主要病態に対する救急処置 1) 脳死 2. 救急患者の観察とアセスメント 1) ABCDE アプローチ	講義 (小柴)	
8回目	1. 一次救命処置 1) 気道確保 2) 胸骨圧迫	講義・演習 (学内教員)	
9回目	1. 一次救命処置 3) 人工呼吸 4) 除細動	講義・演習 (学内教員)	
10回目	1. 重症熱傷 2. 創傷管理法	講義 (山口)	
11回目	1. 放射線医学の成り立ちと意義 2. X線診断	講義 (望月)	
12回目	1. CT 2. MRI	講義 (望月)	
13回目	1. 超音波検査 2. 核医学検査 3. IVR・血管造影	講義 (望月)	
14回目	1. 放射線治療総論	講義 (望月)	
15回目	1. 放射線による障害と防護	講義 (望月)	
評価方法	筆記試験 100% (山本 15% 杉山 20% 小柴 15% 萱場 10% 山口 10% 望月 30%)		
受講生に対するメッセージ	病態治療論で学習した内容を想起しながら授業に臨んでほしい。また、この授業での学びを講義・実習に活かせるよう、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫ 医学書院		
参考書			

